

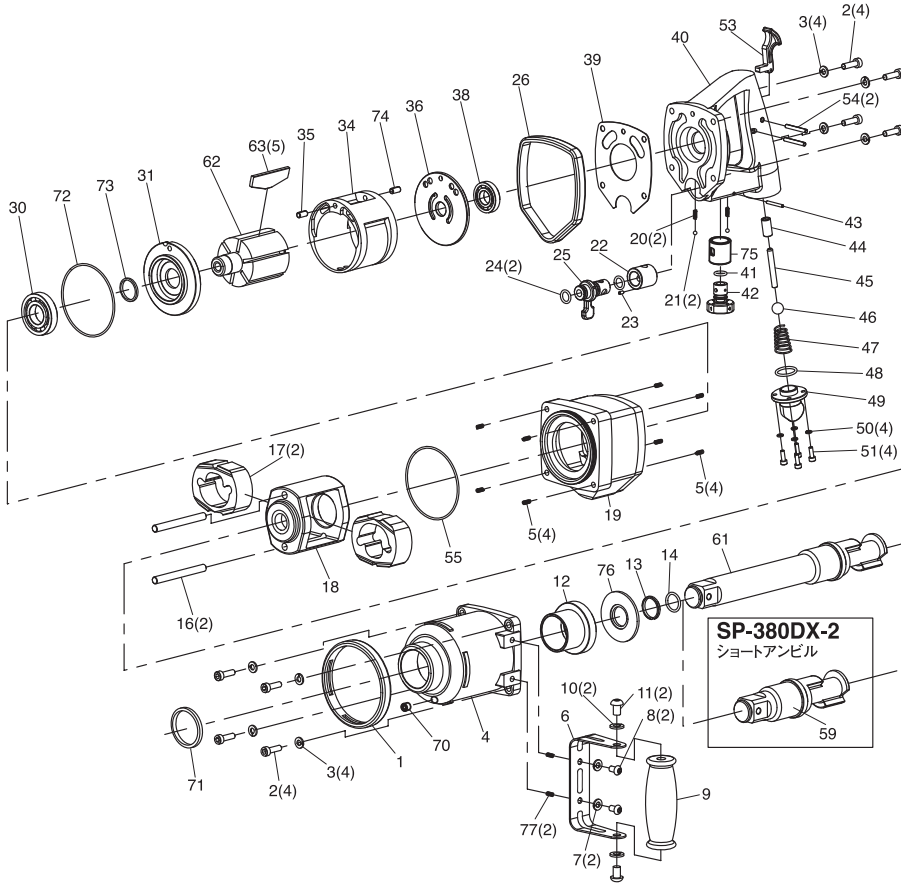
部品分解図

SP-380DX / SP-380DX-2

ロングアンビルタイプ

ショートアンビルタイプ

25.4mm角 超軽量インパクトレンチ



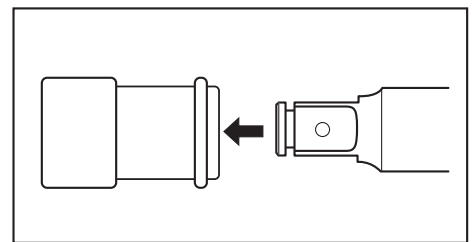
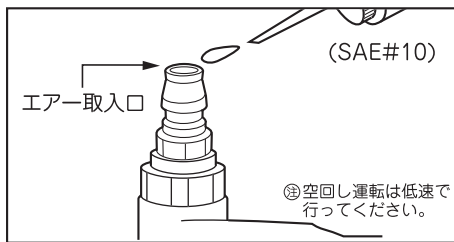
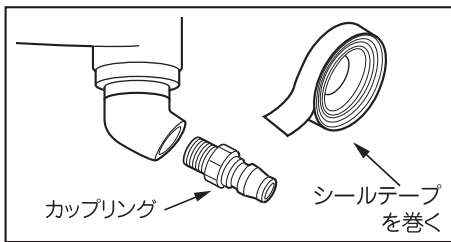
パーツリスト

番号	パーツNo.	名称	個数
1	380DX-01	ハンマーケースバンド	1
2	380DX-02	キャップスクリュー	8
3	380DX-03	スプリングワッシャー	8
4	380DX-04	ハンマーケース (⑩を含む)	1
5	380DX-05	ヘリコイルインサート	8
6	380DX-06	ハンドルブラケット	1
7	380DX-07	スプリングワッシャー	2
8	380DX-08	Hex. ソケットボルト	2
9	380DX-09	サイドハンドル	1
10	380DX-10	スプリングワッシャー	2
11	380DX-11	キャップスクリュー	2
12	380DX-12	ハンマーケースブッシング	1
13	380DX-13	リテーナーリング	1
14	380DX-14	オーリング	1
16	380DX-16	ハンマーピン	2
17	380DX-17	ハンマー	2
18	380DX-18	ハンマーフレーム	1
19	380DX-19	モーターハウジング (⑤含む)	1
20	380DX-20	スプリング	2
21	380DX-21	スチールボール	2
22	380DX-22	リバースバルブブッシング	1
23	380DX-23	セットスクリュー	1
24	380DX-24	オーリング	2
25	380DX-25	リバースレバー	1
26	380DX-26	ハウジングバンド	1
30	380DX-30	ボールベアリング	1
31	380DX-31	フロントエンドプレート	1
34	380DX-34	シリンドア	1
35	380DX-35	スプリングピン	1
36	380DX-36	リアエンドプレート	1
38	380DX-38	ボールベアリング	1
39	380DX-39	モーターケースガスケット	1
40	380DX-40	ハンドルフレーム Assy (⑳㉓㉔含む)	1
41	380DX-41	オーリング	1
42	380DX-42	レギュレーター	1
43	380DX-43	スプリングピン	1
44	380DX-44	スロットルブッシング	1
45	380DX-45	スロットルバルブシャフト	1
46	380DX-46	バルブボール	1
47	380DX-47	バルブスプリング	1
48	380DX-48	オーリング	1
49	380DX-49	インレットブッシング	1
50	380DX-50	スプリングワッシャー	4
51	380DX-51	キャップスクリュー	4
53	380DX-53	スロットルレバー	1
54	380DX-54	スプリングピン	2
55	380DX-55	オーリング	1
59	380DX-2-59	2" ショートアンビル	1
61	380DX-61	8" ロングアンビル	1
62	380DX-62	ローター	1
63	380DX-63	ローターブレード	5
70	380DX-70	オイルプラグ	1
71	380DX-71	オイルシール	1
72	380DX-72	オーリング	1
73	380DX-73	オイルシール	1
74	380DX-74	スプリングピン	1
75	380DX-75	レギュレーターブッシング	1
76	380DX-76	アンビルスペーサー	1
77	380DX-77	ヘリコイルインサート	2

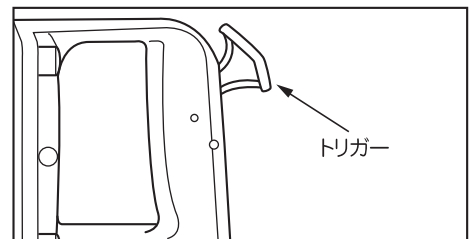
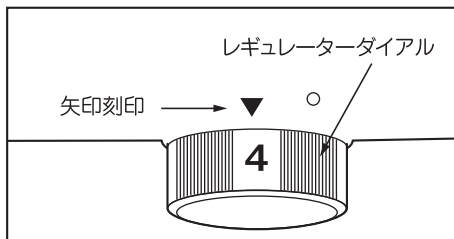
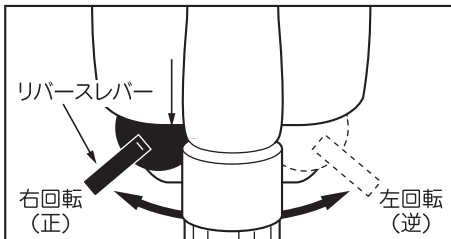
改良のため、仕様を変更する場合があります。

ご使用方法 SP-380DX, SP-380DX-2

1. カップリングのネジ部にシールテープを巻きつけ、エアモレのないように、エア取入口にしっかりと取り付けて下さい。
2. 作動前にエア取入口より、スピンドル油が、タービンオイルを数滴入れて、軽く空回し運転を行い、可動部分に油をなじませて下さい。
3. 給油が終わったら、いったんエアホースを取り外し、インパクトソケットをしっかりと装着して下さい。



4. 作業に入る前に、リバースレバーが正(右)回転か逆(左)回転かを確認して下さい。
5. 作業内容に合わせて、レギュレーターに表示されている①~④の数字を本体の矢印にダイヤルを合わせて使用して下さい。
6. トリガーは押すと回転し、離すと止まります。



※上図はハンドル方向から見た図です。

SP-380DX, SP-380DX-2 ⚠ 取扱上のご注意

- 絶対に、ハンドツール用のソケットや当社推奨以外のソケットは使用しないで下さい。
- 能力を超える作業は絶対にしないで下さい。
- ソケットはアンビルやボルトにぴったり合ったものを正しく取り付けして下さい。摩耗したり、亀裂のあるものは絶対に使用しないで下さい。ソケットの交換はカップリングによりエアホースを外して行って下さい。